

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地

電話：0997(67)2211番

FAX：0997(67)2262番

発行所：宇検村役場

編集：総務企画課

URL <http://www.uken.net>

Mail [soumuk@uken.net](mailto:soumuk@uken.net)

### CONTENTS

- P 2～3 平成22年度施政方針
- P 4～7 むらの話題
- P 8 平成22年度当初予算
- P 9 宇検村職員の人事異動
- P 10～13 お知らせ
- P 14 村民のうごき



#### 【佐念集落 五月節句のお祝い】

佐念集落では、毎年旧暦の5月5日に集落民全員で五月節句のお祝いをします。

両親が村を離れ村外で暮らしており、当日来られない佐念集落の二世三世の新生児も名前が披露され、一緒に祝います。

昔は皆で弁当を持ち合い、浜において行っていたそうです。

今年は6人の孫やひ孫が初節句を迎え、その内2人が出席した。佐念集落で20年ぶりの誕生となった、錦 佐和ちゃん(右)と祖父母が集落に住む師玉 姫衣ちゃんが、お祝いに出席した約30人の祝福を受けた。

【写真撮影＝佐念公民館(6月16日)】



## 村の特色を自ら工夫して活かし、魅力ある村づくりを進めます！

毎年、第一回目の村議会定例会で村長が表明する施政方針は、その年度における施策の方向性を示すものです。

今回、その施政方針の内容につきまして掲載いたします。（※誌面の都合上一部抜粋）



宇検村長 國馬 和 範

## 平成22年度 施政方針

### はじめに

村政を預かる私も村長に就任して早、四年目を迎えました。この間、公約を一期目の総仕上げの年となりました。この間、公約を実現するため議会議員を始め村民の皆様方のご協力を得ながらその実現のため取り組んで参りました。

これからも村民が住みやすい村づくりを推進するために村民と結いの心で共生協働で村おこしを進めたいと考えております。

村の特色を自ら工夫して、活かすことよって、魅力ある村づくりが開けていくものと確信しております。

村づくりの基本方針は、村長期振興計画に基づいて行われておりますが、この計画の中には村民の要望等も組み入れております。その実施計画が完了する頃には更に住みよい村になっていく事を願ってやみません。

### 行財政改革

行財政改革は、平成十八年度から行財政改革を進めておりますが平成二十二年度が最終年度でありますので再度、事務事業、組織機構、定員管理、給与等を検証していききたいと思います。

職員の見直しについては平成二十二年度までに数値目標を定めてその計画に基づいて実施しておりますが既に現段階で数値目標に達しておりますが、年齢構成等を考慮して平成二十二年度に事務職と保育士の四名の職員を採用いたします。

また、今年度は職員の資質の向上を図るため初級中級の職員を研修センターで研修を受けさせることや、県庁での派遣職員の研修も受けさせていただきます。

この様に行財政改革しながらも職員の資質の向上も図って参ります。

### 整備事業

村道については田検名音線を今年度も引き続き整備し、完成させます。

港湾については今年度から新規に湯湾港（須古地区）の防砂堤を整備します。

簡易水道については、今年度は湯湾地区に村内全体の水道水が賄える浄水施設、排水施設を整備し以降は順次送水管を布設して参ります。

### 農業振興

本村に於いては、今年度も農業農村の振興を重点施策と位置づけ、各種事業を導入し、農業生産基盤と集落環境の整備を図ります。

タンカンの販路拡大や高品質の生産が出来る産地の確立及びパッションフルーツ、マンゴー等の栽培技術や品質の向上と生産量の安定的な確保、並びに路地栽培の春・秋のカボチャ等の面積拡大を図ります。

ヨモギの奨励も行い高齢者の方々の農業への参加を促し、高齢者の生き甲斐を促して参ります。

地力向上のため今年度も宇検村元気堆肥の購入補助を行い、安価で良質な堆肥の利用を図って参ります。

### 林業振興

本村では循環型林業の形態を目指しており、公有林の整備事業による村有林の広葉樹や優良樹種の改良、優良樹木の植栽事業を導入すると共に徳用林産物の生産等林業全体の振興に努めて参ります。

林道整備につきましては湯湾赤土山線の舗装、佐念線、新小勝線の事業を県営事業で行います。

### 畜産振興

畜産振興については現畜産団地の育成に努めるとともに飼料畑の面積拡大と収量の増大を向上させていきたいと思っております。

次に地積調査関係について、地積調査は土地開発及び利用等に資する為の調査ですが、今年度も公共事業に伴う道路改良工事を優先的に実施して参ります。

### 観光・商工業

観光の開発については、湯湾岳公園を始め峰田山園地、各ミニポケット公園、海水浴場の整備を進めました。本年度は奄振事業で湯湾岳公園内にトイレを整備します。

また、タエン海水浴場は大変好評で大勢の方々に利用され、さらに屋鈍海水浴場も連動して利用されるものと期待されます。

一方、活性化センター「結いの館」の施設や「開運の郷」を利用し焼酎工場などを見学する観光も見込まれ、レストラン・宿泊施設、さらには、即売所「ミニ道の駅」を新設し、それらの施設と連携しながら都会の方々に自然や農作業体験を行っていただき、宇検村の良さをPRし中長期滞在型につながっていくような施策を講じて参ります。

### 医療・保健福祉

介護保険事業におきましては、包括支援センターによる更なる情報集約を図り、訪問健康指導等の充実や介護保険事業計画に基づき実施するところです。

予防事業におきましては、昨年度より実施しております四十才から七十四才を対象とした「特定検診・特定保健指導事業」の更なる充実を図るとともに、生活習慣病予防を重点に、年一回の検診・保健指導を実施し健康的な生活習慣の定着を図ることを目的で実施します。

障害者支援事業におきましては、昨年度において村障害者福祉計画の見直しを図り、村の特徴を生かしたサービステクの充実・強化を図ると共に、きめ細かな相談・支援・情報提供を図っていきます。

### 医療・保健福祉

介護保険事業におきましては、包括支援センターによる更なる情報集約を図り、訪問健康指導等の充実や介護保険事業計画に基づき実施するところです。

予防事業におきましては、昨年度より実施しております四十才から七十四才を対象とした「特定検診・特定保健指導事業」の更なる充実を図るとともに、生活習慣病予防を重点に、年一回の検診・保健指導を実施し健康的な生活習慣の定着を図ることを目的で実施します。

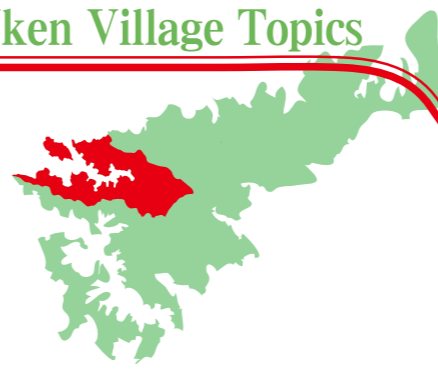
障害者支援事業におきましては、昨年度において村障害者福祉計画の見直しを図り、村の特徴を生かしたサービステクの充実・強化を図ると共に、きめ細かな相談・支援・情報提供を図っていきます。

### 教育行政

平成二十二年度も宇検村後期基本計画、五カ年計画を念頭において生涯学習の観点に立ち主体性・創造性・国際性を備えて、情報化と国際化に対応しうる人間性を豊かでたくましい村民の育成を目指して本村教育の充実を図ってまいります。

その為には県教育委員会、大島教育事務局の施策等を考慮しつつ連携しながら「宇検村の良き伝統や教育風土を生かした村づくりに努める」ことを基本として教育行政を進めてまいります。

学校教育に於いては、生涯学習の基盤となる「知・徳・体」のバランスを図り、基礎的基本的な知識、技能、思考力、判断力、表現力等学習意欲を重視し児童生徒が安心、安全で「喜んで登校、満足して下校」できる充実した学校づくりを図ります。



\*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事をご紹介します。みなさんの周りにあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 総務企画課 広報係 ☎ 0997-67-2211

## 春の交通安全・地域安全運動

～防犯パレードと夜の交通安全スクール～

毎年行われている『春の交通安全運動』と『春の地域安全運動』が4月上旬から中旬頃にかけて実施され、その一貫として村内でも色々な活動があり、村民の交通安全と防犯意識の向上が図られました。



実際に横断歩道の渡り方を体験し、腹話術で解りやすく交通ルールを勉強。

4月12日には須古集落の公民館にて交通安全ナイトスクールが行われました。これは、夜間の交通事故防止の啓発とともに、須古橋付近の改良工事による新しい交通規制などの周知を目的に実施されたもので、瀬戸内警察署より高齢者の事故防止や飲酒運転の厳しい罰則などについて説明を受けた後、実際に外に出て『夜間の歩行者のみにくさ』を実体験しました。

4月9日には湯湾集落にて防犯パレードが行われました。パレードへ村防犯協会や学校関係者などが参加し、横断幕を掲げながら集落内を練り歩き、防犯意識の向上を呼び掛けました。



横断幕を掲げての防犯パレード

## 新須古橋の開通式

須古橋は老朽化のために昨年の4月から全面通行止めとなっていました。3月25日に新須古橋が完成し、同日の午前に開通式があり、午後2時より供用が開始されました。



新須古橋の渡り初めをする出席者の皆さん

この橋の工事区域は、本村中心部の湯湾集落と本村南西部の各集落を結ぶ重要な箇所であり、今回の整備で橋の車道幅を拡張したことにより、車両の安全な通行が図られています。

また、旧須古橋も整備を進めており、平成22年度中に改良を行い、歩行者専用道路として使用します。このことにより、今後さらなる歩行者の安全確保が図られます。

開通式には、関係機関の代表や多くの村民が出席し、安全祈願祭とテープカットが行われたあと、出席者全員で渡り初めを行い開通を祝いました。

新須古橋の建設工事は特殊改良事業（須古工区）の一環で、総事業費10億9千万円、工事期間は平成17年度～平成22年度で、新須古橋（延長90.5㍎）を含む全体延長445㍎の区間を2車線に改良します。



▲安全祈願祭の後に行われた、工事関係者や来賓によるテープカット



▲村議会議員や各集落区長、さらに須古集落民など村民も多数参加



▲宇検村・瀬戸内町では最長の橋が完成。右側に見えるのが旧須古橋

## 第2回お魚祭りを開催

～盛りだくさんのイベントで賑わう～

4月25日に『第2回宇検村お魚祭り』が漁協前の広場で行われました。多くの方が訪れ、焼内湾で水揚げされた新鮮な魚介類の販売などで賑わいを見せました。



賑わいを見せたお魚祭りのようす

これは、地域活性化と村漁業の推進・振興を目的に村漁業協同組合が企画したもので、昨年の10月に続き2回目の開催となりました。

会場では、カツオ、エビ、赤ウルメ、イカなどの新鮮な魚介類が販売され、来場者がお目当ての品を手に取り、買い求める姿が見られました。また、大きなイセエビの入ったみそ汁が大人気で、飲食所はエビの旨みが詰まった汁を味わう人達でいっぱいになりました。そのほか、キハダマグロの解体ショーや海産物の当たる抽選会などがありました。

来場者からは「とても賑わっていて楽しいです。可能であれば年に何回もやってほしい。」などの声が聞かれました。



海産物の抽選に盛り上がった会場

## 村への想いを歌に！ ラジオ番組も始まる

田検集落の佐々木一宇さんが作詞した『元氣いちばん宇検村』という歌がこのほど完成しました。作曲は公民館講座の講師をしていた久永美智子さんへ依頼しました。

故郷にいる親への想いを伝える内容となっているこの歌は、歌詞に島の方言を多く盛り込み、子供や若者にも聞いてもらえるように、ポップなメロディになっています。

また、六月からは毎月第二火曜日にラジオ番組が始まり、四十五年間島外へ住んでいた経験を活かし、外からの視線で奄美の良さを伝えています。



自ら作詞した歌を収録する佐々木さん

## 子ども劇場を開催

毎年、子供たちが楽しみにしている『子ども劇場』が四月十七日に村元気の出る館でありました。これは宇検村連合会が主催しており、宇検村の子供たちに、間近でお芝居を楽しんでほしいという思いから毎年開催されているものです。

今年は、劇団道化の皆さんが『しようぼうじどうしゃじぶた』を披露し、一生懸命に働く小さな消防車じぶたを主人公にした笑いや感動満載の物語に、子供たちは身を乗り出し、見入っていました。



劇を見に来てくれた、たくさんの子供たちと写真を撮りました



東京奄美会の方々が全員舞台へ上がり、宇検村へのエールと万歳三唱を贈って頂きました。

## 東京奄美会が表敬訪問

～歓迎の懇親会を盛大に開催～

6月5日に東京奄美会（佐藤 持久会長）一行26名が宇検村を表敬訪問され、同日の夜に村元気の出る館にて歓迎会を盛大に行いました。

東京奄美会の郷土訪問は4年に一度行っており、今回は4日から8日までの五日間の日程で、奄美大島と喜界町を表敬訪問されました。

村職員や関係者が多数出席するなかで行われた歓迎会は、開運太鼓の皆さんによるオープニングに始まり、舞踊や島唄、東京奄美会から要望のあった芦検稲すり踊りが披露され、出席者を楽しませてくれました。祝宴の最後に行われた六調では、全員が踊りに加わり大いに盛り上がりを見せ、また、東京奄美会の方々からお礼の意味を込めて、村側の出席者へ万歳三唱が贈られるなど親睦を深めることが出来ました。

佐藤会長は「奄美に住んでいる皆さんが立派な島をつくっていることに感謝しています。奄美の特産品を宣伝するなど、本土にいる出身者も奄美のために積極的に協力していきます。これからも一緒にがんばっていきましょう。」などとあいさつをしました。



マグロの解体ショーを楽しむ東京奄美会の皆さん



東京奄美会からの要望で披露された芦検稲すり踊り



歓迎会で代表してあいさつを述べる佐藤 持久会長



寄贈された二つの応援幕を掲げる久志小中学校の児童生徒

## 久志校へ応援幕

6月7日に久志小中学校（安藤 かずひさ校長）へ、同校卒業生から『執念』『がんばれ久志っ子！』と書かれた応援幕が寄贈されました。

これは、普段の学校生活や部活動などをがんばっている久志小中学校の児童生徒のために、少しでも力になればと、卒業生の呼び掛けにより行実現しました。各集落の青年団が校区内の家々を回ったほか、校区外のOBの皆さんにも寄付を募り、二つの応援幕を寄贈することが出来ました。

7日に行われた贈呈式で安藤校長は「りっぱな応援幕を頂きました。試合中にきつい時もあります。そんな時応援幕が力を与えてくれます。地域の方々に感謝をしましょう。」などと児童生徒へ向けて話しました。また、生徒を代表して小学六年生の高田 拓実さんと中学三年生の福永 優衣さんが「応援幕が出来たことを嬉しく思います。大切に使用して、これからも試合などをがんばるので、応援よろしくお願ひします。」とお礼の言葉を述べました。



小中学生全員でヒマワリの種を植えました。

## 名柄校で『人権の花』運動

～具体的な活動を全員で考え取り組む～

鹿児島県では昭和60年度から実施されている『人権の花運動』が、今年度、本村の名柄小中学校（川上 哲博 校長）で実施されています。

この運動は、各学校へ配布された花の種子などを、児童生徒が協力しながら育てることを通して、協力、感謝することの大切を学び、人権尊重の思想をはぐくむことを目的としています。今年度、大島地区でこの人権の花運動に取り組むのは、名柄小中学校と沖永良部の和泊小学校の2校です。

名柄小中学校では、4月19日に人権の花運動開校式が行われ、5月6日にはヒマワリの種植え作業がありました。同校では一年間、生徒会長を中心に生徒全員で、具体的な活動内容を話し合いながらこの運動に取り組んでいくそうです。運動を通して、お互いの人権を大切にする心の育成を目指します。



目録を授与する生徒会長の幸くん



女子バレーで優勝した芦検チーム

## 宇検村で春のスポーツ大会

～各種目とも熱戦を繰り広げる～

毎年この時期に恒例となっている『宇検村春のスポーツ大会』が行われ、各種目で熱戦が繰り広げられました。まず、5月16日には村総合体育館で村女子バレーボール大会が、村陸上競技場では村グランドゴルフ大会が行われました。女子バレーには各地区より8チームが出場し、決勝戦で芦検が粘る須古との試合をセットカウント2-0で制し、見事に優勝を飾りました。グランドゴルフへは、男女年代別の3クラスへ約80名の方が出場し、レベルの高いプレーを見せてくれました。

次に、男子バレーボールとゲートボール大会が5月30日に行われました。男子バレーは女子と同じく芦検が須古を2-0で破り、優勝。大島地区大会の予選も兼ねたゲートボールへは7チーム出場し、みなさん集中して競技をする中、抜群のチームワークを見せた芦検が優勝を飾りました。



スピードとパワー溢れる男子バレー



県大会個人男子・女子の無差別級で優勝した保池くんと辰島さん

六月十三日に鹿児島県で県下中学校柔道大会（財団法人鹿児島県柔道会主催）が開催されました。本村より個人男子・女子無差別級へ出場した保池 玄大くん（田検中三年）と辰島 千夏さん（同二年）が、共に優勝を果たす快挙を達成しました。県内各地から個人男子へは五十八名が、個人女子へは三十七名が出場する中、両者とも無差別級という厳しい条件での試合を、見事に最後まで勝ち抜きました。

県の無差別級で優勝  
田検中柔道部の二人